事例No.	2949
公表年度	R5
団体の属性	都道府県
団体名	奈良県

事例区分	DX

タグ	・ICT ・公共施設活用 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	ICT

事例内容・タイトル

参考:ケーブルによる小規模中継局・共聴施設の代替例（地デジ化時、奈良県）

出典

デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会（第23回）配付資料

前回の検討会で示された当面の検討課題

＜小規模中継局等のケーブルテレビによる代替＞
小規模中継局等のブロードバンド等による代替に関して、ケーブルテレビによる代替（巻取る）も可能であるが、取組を進めるに当たって考慮すべき制度上・運用上の事項や必要な対応について検討する。
（候補地域の選定手続、住民への周知、説明等対応すべき事項としてどういったものが考えられるか　等）

参考：ケーブルによる小規模中継局･共聴施設の代替例（地デジ化時、奈良県）

地デジ化時には、ケーブルテレビ、放送局、自治体が連携し、多数の小規模中継局･共聴施設の代替（巻取り）を実施。奈良県南部では、ほぼ全域をケーブルで代替。

奈良県内山間部のテレビ難視聴地域において、地上デジタル放送への円滑な移行を実現し、ブロードバンドインターネット環境を整備することで、情報通信格差（デジタルデバイド）を解消する

平成15年3月：県・関係市町村・県域TV局・近鉄ケーブルネットワーク(株)等が出資し、第3セクターこまどりケーブル(株) を設立
- 県、市町村の支援を受けつつ、各地域での小規模中継局、共聴の巻取りを実施
- 各地域において一定の加入率を下回った場合、自治体が保証を行うことを確認し整備に着手

県内各自治体で５００回以上の説明会を開催
- 自治体等と共同で説明会を開催。自治体から地デジ化の必要性、「新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業」補助金等を活用することでケーブル加入費用が補助される点、こまどりからサービスの概要を説明。議会、自治会長等へも随時説明

平成22年度：全地域において整備完了
平成23年（2011年）：アナログ放送終了
整備したCATV網を活用して、各自治体ごとに独自チャンネル映像による緊急情報、福祉情報、観光情報等、地域に密着した多様な情報を提供

